

ウォシュレット® アプリコット Fシリーズ 施工説明書 apricot

◆ウォシュレットはTOTOの登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

施工情報

- 必ず同梱のベースプレートを使用してください。旧型のベースプレートでは、ウォシュレットの取り付けができません。
- 便ふたがキャビネットに当たる場合は、当たり音軽減のため同梱のクッションを貼り付けてください。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

警告	警告	注意
<p>警告</p> <p>誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。</p>	<p>警告</p> <p>浴室など湿気の多い場所には設置しない (火災や感電の原因になります。)</p>	<p>注意</p> <p>便座・便ふたを持って製品を持ち上げない (本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)</p>
<p>注意</p> <p>誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される」内容です。</p>	<p>指定する電源(交流100V)以外では使用しない (火災の原因になります。)</p>	<p>給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない (水漏れの原因になります。)</p>
<p>絵表示の例</p> <p>⊘ してはいけない「禁止」の内容です。</p> <p>⊕ 必ず実行していただく「強制」の内容です。</p>	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)</p>	<p>禁止</p> <p>止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない (水が噴き出します。)</p>
	<p>⚡ 電源プラグは根元まで確実に差し込む (プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。)</p>	<p>⚠ 必ず守る</p> <p>施工は施工説明書に従って確実に行う (正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)</p>
	<p>アース接続</p> <p>アース(D種接地)を確実に取り付ける (アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)</p>	<p>⚠ 必ず守る</p> <p>給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める (確実に締めないと水漏れの原因になります。)</p>

取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、ウォシュレット本体にベースプレートをセットして通電しないでください。温水タンクが空の状態ではヒータが入るため、故障の原因となります。
3. 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力はF1B・F2B・F3B・F5B: 1282W、F4B: 1378Wです。この電力に適した配線をしているか確認してください。
4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。
6. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 同梱以外の給水ホース、分岐金具を使わないでください。

同梱部品

リモコン部品 ※サウンドリモコンはF5Bのみ同梱されています。

標準リモコン

リモコン リモコンハンガー

サウンドリモコン (F5Bのみ)

乾電池(単3形×4個)

ベースプレート部品 ※分解せずにこのままで便器に取り付けてください。

分解された場合、歯付座金には方向性があります。ご注意ください。

くぼみ(2カ所)のある面が下になります。

ボルト(2個) 座金(2個) 歯付座金(2個)

ゴムブッシュ(2個)

乾電池(単3形×3個)

ねじ(3本)

アンカープラグ(3本)

給水ホース バック付

長さ:約970mm

印刷物

取扱説明書、サウンドリモコン用取扱説明書(F5Bのみ)、施工説明書(本書)、使いかた説明シート、アンケート用紙、延長保証チラシ、申込用紙、フック(使いかた説明シート用)、点字シール、便器洗浄ラベル

クッション

取付説明書付 1個

フレグランスセット (F4B・F5Bのみ)

取付説明書

フレグランスオイルシート(8枚)

トレー(1個)

室内暖房部品 (F4Bのみ)

室内暖房ユニット

ねじ(2本)

室内暖房ユニット

ねじ付 ねじ(1本)

吹き出し口

各部のなまえ

給水フィルター付水抜栓

人体検知センサーA(F3B・F4B・F5Bのみ)

人体検知センサーB(F3B・F4B・F5Bのみ)

着座センサー

便ふた

ウォシュレット本体側面

本体取りはずしボタン

ウォシュレット本体裏面

脱臭フィルター

暖房便座

温風吹出口カバー(F2B・F3B・F4B・F5Bのみ)

ウォシュレット本体後方

水抜きレバー

室内暖房用中継ボックス(F4Bのみ)

電源プラグ

室内暖房用中継ボックス(F4Bのみ)

アース線

やわらかライト

給水ホース

止水栓

分岐金具

ベースプレート

ノズル

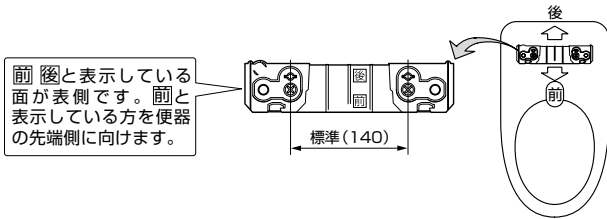
※分岐金具の形状は商品のタイプによって若干異なります。

取付方法

1 便器への取り付け

注意 ●すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※旧型のベースプレートではウォシュレットが取り付けできません。

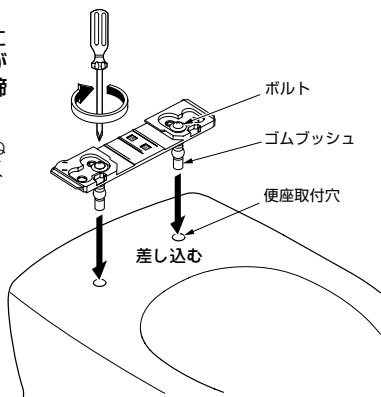
1 ベースプレートの取付方向を確認する



2 仮締め

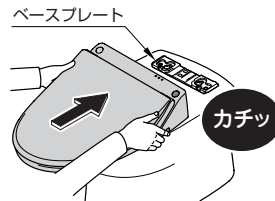
ゴムブッシュを便器取付穴に差し込み、ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締める

●ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。



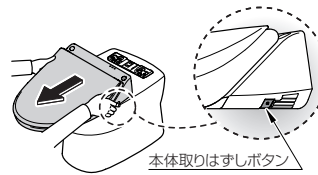
3 ウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまでベースプレートに押し込む

●ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心が合うようにして、本体を押し込むと位置が合わせやすくなります。



4 ウォシュレット本体がまっすぐ取り付くことを確認し、いったん本体を取りはずす

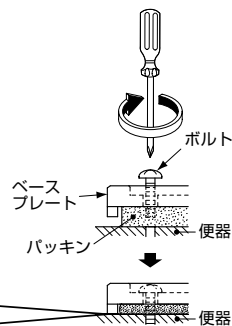
●ウォシュレット本体取りはずしボタンを押したまま手前に引くとはずせます。



5 本締め

ボルトをしっかりと締めた後、再びウォシュレット本体を「カチッ」と音がするまで押し込む

注意 正しく取り付けなかった場合は、ウォシュレット本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。



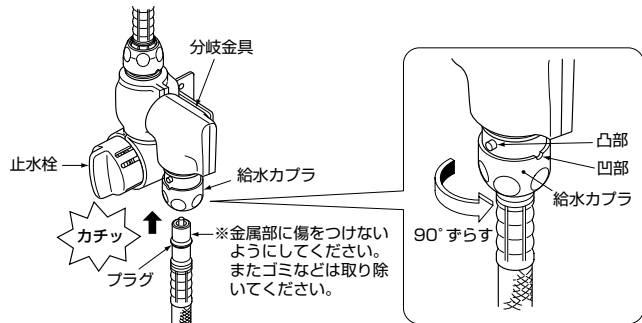
⊕ドライバーで、ボルトがまわらなくなるまで、しっかり締め付けてください。

※ウォシュレット本体を便器に取り付けた際、上下左右に若干のガツキが発生します。(これは、ワンタッチ着脱を行うために設けたスライド部のスキマによるもので、異常ではありません。)

2 給水ホースの接続

1 ウォシュレット本体をベースプレートから取りはずす (1 便器への取り付け 4 項 参照)

2 給水ホースを分岐金具の給水カブラに差し込む (差し込み後、給水カブラの凸部と凹部を90°ずらしてください。)



POINT!
「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

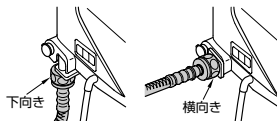
3 ウォシュレット本体の給水口に給水ホースの袋ナットを締め付ける ※この状態のまま製品を床に置かないでください。給水ホースが折れ、水漏れの原因になります。

注意

給水口をモンキーレンチで固定して給水ホースを接続してください。



(無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れの原因になります。)

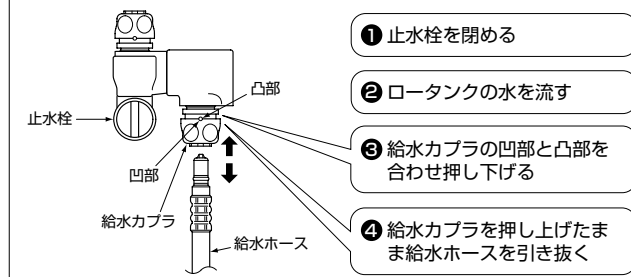


ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。

4 ウォシュレット本体をベースプレートに取り付ける (1 便器への取り付け 3 項 参照)

給水ホースのはずしかた

施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは、次の手順で行ってください。



1 止水栓を閉める

2 ロータンクの水を流す

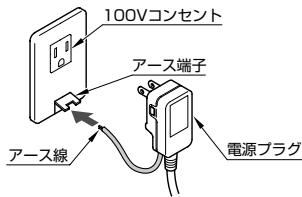
3 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し下げる

4 給水カブラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く

※分岐金具の形状および給水ホース差し込み方向は商品のタイプによって若干異なります。

③ アース線の接続

- アース線をコンセントのアース端子に接続してください。
- ※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



④ 電源プラグの確認

注意 (F3B・F4B・F5Bのみ)

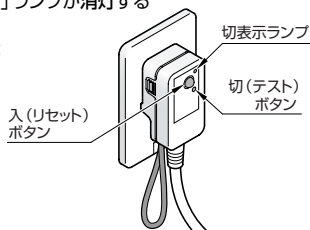
- 電源プラグを入れて最初に便ふたが開くとき、障害物に当たると次から便ふたが途中で止まる場合があります。(3回続けて開いた位置を記憶します。) 障害物を取り除いた状態で電源プラグを一度はずしてもう一度差し込み、リモコンの「便ふた開スイッチ」を押してください。
- 電源プラグを入れてやわらかライトが約10秒～約1分間点滅した後、便器に近づくと自動で便ふたが開きます。やわらかライト点滅中(人体検知センサーA 準備中)は、便ふたは「オート開」しません。
- 脱臭を始めます。

① 電源プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む

- F1Bの場合:ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。
- F2B・F3B・F4B・F5Bの場合:温風吹出口カバーが開閉した後、ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

② 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

- 「切(テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
- 「入(リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
- 以上のように作動すれば正常です。
- 「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
- テスト後は必ず「入(リセット)」ボタンを押してください。

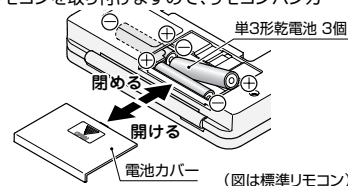


⑤ リモコンの取り付け

※F5Bは、サウンドリモコンのハンガー部にリモコンを取り付けますので、リモコンハンガーは不要になります。

① 電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる

※⊕⊖を間違えないでください。



② 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める (図は標準リモコン)

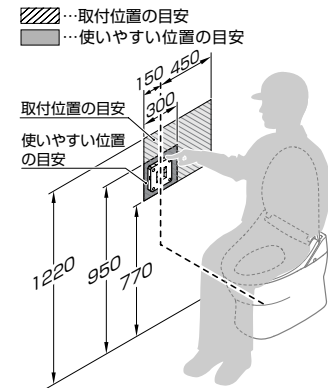
【操作性の確認】

- 便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。
- ※室内の広さ、壁、材質などの条件により、リモコンの受信性能が変わることがあります。
- スイッチを押してノズルが伸縮することを数回確認してください。

【作動の確認】

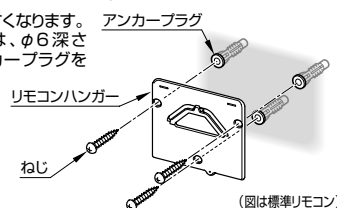
- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、右図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

※サウンドリモコン(F5Bのみ)の場合、左側に約20mmの空間を確保してください。(電池交換のため)



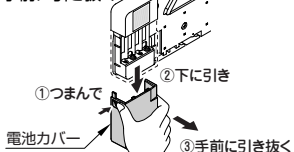
③ リモコンハンガー(またはサウンドリモコン)をねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。アンカープラグ
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。



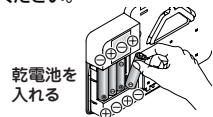
④ サウンドリモコン(F5Bのみ) 【乾電池の入れかた】

① 電池カバーをつまんで、下に引き 手前に引き抜く

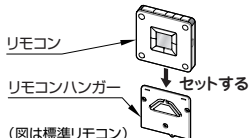


② 単3形乾電池4個を入れ電池カバーを取り付ける

※乾電池は⊕⊖を確認して正しく入れてください。

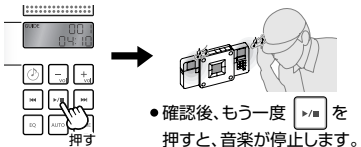


⑤ リモコンをリモコンハンガー(またはサウンドリモコン)にセットする



⑥ サウンドリモコン(F5Bのみ)

音楽が流れるか確認する

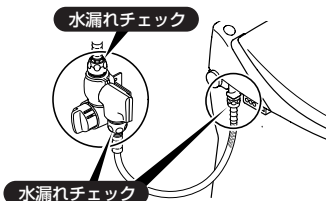


試運転

- 試運転の前には必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。「入」のときは「運転ランプ」が点灯します。「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んででもウォシュレット本体は作動しません。
- ※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。

① 水漏れの点検

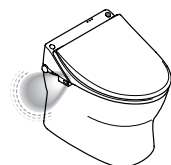
- 止水栓を開けて配管接続部から水漏れがないことを確認します。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認します。
- ※万一、水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。



② 機能の確認

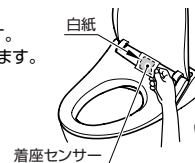
① 電源プラグを入れる

- 約10秒～約1分間やわらかライトが点滅します。(人体検知センサーA 準備中) その間便ふたは「オート開」しません。(F3B・F4B・F5Bのみ)
- 脱臭を始めます。



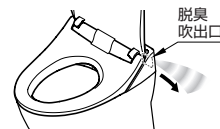
② 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。検知した状態になるとやわらかライトの光が明るくなります。(F3B・F4B・F5Bのみ)
- またノズル付近から数秒間水が出ます。(便座を閉めないで着座センサーははたらきません。)



③ 脱臭機能を確認する

- ウォシュレット本体背面右側の吹出口より風が出ていますか?



④ パワー脱臭機能を確認する

- ①「パワー脱臭」スイッチを押す → 脱臭音が大きくなりますか?
- ②もう一度、「パワー脱臭」スイッチを押す → 通常の音に戻りますか?

⑤ 洗浄機能を確認する

- ①「おしり洗浄」「やわらか洗浄」「ビデ洗浄」スイッチを押す → ノズルから適温の温水が出ますか?
- ②「水勢調節」スイッチのプラス・マイナスを押す → 水勢が変化しますか?
- ③「止」スイッチを押す → 温水が止まりますか?



6 乾燥機能を確認する (F2B・F3B・F4B・F5Bのみ)

- ①「乾燥」スイッチを押す⇒温風がノズルの右側から出ますか?
- ②「止」スイッチを押す ⇒温風が止まりますか?



7 室内暖房機能を確認する (F4Bのみ)

※取り付け方法は大便器キャビネット部の施工説明書をご覧ください。

- 「室内暖房入/切」スイッチを押すと、キャビネット右側下部より温風が出ますか?
- もう一度「室内暖房入/切」スイッチを押すと、約10秒後に温風が止まりますか?
- 室温が20～33℃のときは10秒間だけ温風が出ます。それ以上の室温のときは温風は出ません。
- 設定温度より室温が高くなると、温風が自動で止まります。



8 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

9 着座センサーを白紙で30秒以上おおった後、白紙をはずす

- 白紙をはずすとやわらかライトの光が少し暗くなります。(F3B・F4B・F5Bのみ)
- ※約30秒間ノズルが少し出た状態で少量の水が出ます。
- ノズル収納後、温風吹出口カバーが少し開いて閉まります。(F2B・F3B・F4B・F5Bのみ)

10 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか?
- 1分後に自動で止まりますか?

11 オート便器洗浄機能を確認する

- 白紙をはずして約5秒後に自動で便器洗浄しますか?
- 男子小用時オート便器洗浄機能の確認 (F3B・F4B・F5Bのみ)：便座・便ふたを開け便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約3秒後に自動で便器洗浄しますか?

12 リモコン便座・便ふた開閉機能を確認する (F3B・F4B・F5Bのみ)

- 「便座・便ふた開閉」スイッチを押すと便座・便ふたが開閉しますか?

13 オート開機能を確認する (F3B・F4B・F5Bのみ)

- 便ふたが開まり約10秒後、便器の前に立つと便ふたが自動で開きますか?
- ※便ふたが自動で開かない場合は体を動かしてみてください。

14 リモコン便器洗浄機能を確認する

- ※オート洗浄後、リモコン便器洗浄機能を確認するときは10秒以上間隔をあけてください。
- リモコンの「大・小」スイッチを押すと、便器の水が流れますか?

15 オート開機能を確認する (F3B・F4B・F5Bのみ)

- 便ふたが開いた後、便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座・便ふたが自動で閉まりますか?

16 オートサウンド機能を確認する (F5Bのみ)

- ①便ふたを開いて スwitchを「入」にする
➔表示部が点灯している状態にしてください。
- ② スwitchを「入」にして便器の前に立つ
➔音楽が流れますか?
- ③確認が終わったらもう一度 スwitchを押し、「切」にする



給水フィルターの掃除

- 試運転後は必ず給水フィルターを掃除してください。(フィルターにゴミが詰まると、おしり・ビデ洗浄時の水勢が弱くなります。)

1 止水栓を閉めて給水を止める

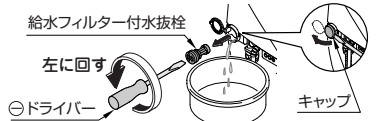
- ロータンクの水を流してください。(給水管内の圧抜きです。)



注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない(水が噴き出します。)

2 キャップを開けて、給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってはずす

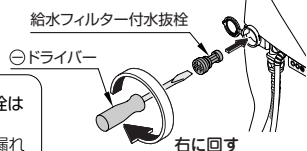


3 フィルターを水洗いして小さなゴミを取る

※ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



4 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締める



注意

給水フィルター付水抜栓は確実に締める(確実に締めないと水漏れの原因になります。)

5 止水栓を開けて給水フィルター付水抜栓部から水漏れがないことを確認する

6 キャップを閉める

凍結のおそれがあるときの処置

- お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故防止のため、次の要領で水抜きしてください。(電源プラグは差し込んだままにしてください。)

1 止水栓を閉めて給水を止める

- ロータンクの水を流してください。水が流れ出てしまうまでレバーを回したままにしてください。

注意

止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない(水が噴き出します。)



2 配管の水を抜く

- ①リモコンの「ノズルそうじ」スイッチを押す(配管内の残水を抜く準備です。)
- ②キャップを開けて給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってはずす(給水フィルターの掃除 ②項参照)
- ③給水ホース内の水を抜く(約30ml)
- ④もう一度リモコンの「ノズルそうじ」スイッチを押す(ノズルを元に戻します。)

3 ウォシュレット本体を取りはずす

- (①便器への取り付け ④項参照)
- 取りはずしたウォシュレット本体は便器上面の前方に置いてください。

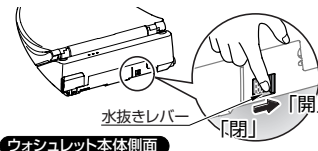
4 ウォシュレット本体内の水を抜く

- ①水抜きレバーを「開」位置に押し続ける
- ウォシュレット本体のノズル付近から水(約40ml)が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約15秒かかります。

- ②手を離し、水抜きレバーを「開」の位置に戻す

- 水抜きレバーを押し続けている途中でノズルが自動で出てきます。ノズルの穴から少量の水が出て、約30秒後に自動で戻ります。

※ウォシュレット本体のノズル付近および、ノズルの穴から出る水が便器内に落ちるようにしてください。



5 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締めてキャップを閉める

- (給水フィルターの掃除 ④項参照)

6 ウォシュレット本体を取り付ける

- (①便器への取り付け ③項参照)

工事店様へ

- 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。
- ウォシュレットを左右または対面方向と2台以上並べて設置される場合、隣のリモコンの信号を受けて誤作動する場合があります。詳しくは、連立対応について (URL) <http://buhin.toto.co.jp/>「施工方法」の欄「ウォシュレット施工方法(リモコン連立対応など)」をご覧ください。